

2020-2021 JCX national series 第1戦

TREK Crockett presents 茨城シクロクロス取手ステージ

開催のご報告



- 開催日：2020年10月25日（日）
- 会場：小貝川リバーサイドパーク（茨城県取手市中内 藤代スポーツセンター近く 小貝川河川敷）
- 主催：スポーツサイクル普及委員会（茨城シクロクロスつくば事務局）
- 共催：一般社団法人日本シクロクロス競技主催者協会（AJOCC）
- 後援：取手市 取手市教育委員会 株式会社茨城新聞社
- 公認：公益財団法人日本自転車競技連盟（JCF）
- 協力：取手市観光協会 FLECHA NPO法人サイクリスト国際交流協会
- 協賛：トレック・ジャパン株式会社 ルノーつくば・ルノー水戸 / 茨城日産自動車株式会社
アイリス株式会社 株式会社新昭和ウィザース東関東 ウィンクレル株式会社
株式会社隼 NASK Trading 有限会社ブイ・ティー・ジェイ
おたふく手袋株式会社 株式会社 Champion System Japan 井上ゴム工業株式会社
シマノセールス株式会社

2020年10月25日、例年より遅い時期となりました「茨城シクロクロス第2戦取手ステージ」を小貝川リバーサイドパークにて開催いたしました。世界的感染症の影響下にありながら、関係各位の皆様の協力と理解により無事に大会を催すことが出来たことに、この場をお借りして御礼を申し上げます。

会場使用と整備に多大なご支援をいただいた取手市役所の皆様、大会にご協賛いただいたオフィシャルスポンサーの皆様、公益財団法人ハーモニセンター小貝川ポニー牧場の皆様には、心より感謝申し上げます。取手市観光協会による取手出店ブースは本年も参加者から好評を頂き、ご協力いただいた取手市観光協会の皆様にも重ねて感謝申し上げます。

本年の大会は、前回・前々回から参加者数と来場者数を絞っての開催とし、470名の選手がエントリー。加えて、感染症対策として行った事前登録での来場受付、および当日書類提出による来場者、総計して来場者数は844名となりました。大きな混乱なく受付業務を進めることが出来、今後の国内大会でも応用を進めていきます。

今後数年間は、手法を模索しながら、競技大会関係者との連携を密に保ちながら屋外イベントを継続していくことが予想されます。茨城取手の魅力を発信し、また日本の競技力向上に寄与すべく、引き続き開催していきたいと考えています。

引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

大会オルガナイザー 影山善明



写真撮影：齋藤高史（Takashi SAITO）、織田達（Satoshi ODA）、綾野真（シクロワイアード）

【来場者数】

エントリー選手数：470名

総来場者数：844名（選手+同行者+事前来場登録者=723名 当日来場登録者=121名）

【飲食出店】

- ベジタボリーフ（バナナポークカレー、焼きそば、ビール）
- やきとり味好（やきとり、枝豆、フランクフルト）
- 京華（あんかけ焼麺、鶏唐揚げ）
- 浦島（うな重）
- ケータリングSUGAR（れんこんバーガー、ワッフル）
- BAR自己耐（お好み焼き、ステーキ、ビール）
- クマリ（カレー、タンドリーチキン）
- 取手市商工会（漬物、あられ、お土産）
- メトロン（コーヒー）

【ブース出展】

- トレック シクロクロスバイク クロケット展示・試乗（有限会社オンザロード）
- ルノーつくば カンゲー&ルーテシア（茨城日産自動車株式会社）
- エクスルブ バイシクルチェーンオイル（アイリス株式会社）
- ノースウェーブ バイクシューズ（ウインケル株式会社）
- アスリチューン エネルギーゼリー・サプリメント（株式会社隼）
- TUNE ホイールシステム（NASK Trading）
- ビットリアタイヤ（有限会社ブイ・ティー・ジェイ）
- オリジナルサイクルグローブ・アンダーウェア（おたふく手袋株式会社）
- カスタムオーダーサイクルウェア・オーダー相談会（株式会社 Champion System Japan）

【メディア】

◎国内最大の自転車情報サイト「シクロワイアード」

<https://www.cyclowired.jp/news/node/335176>

「茨城シクロクロス2020第2戦取手ステージ 織田・前田がワン・ツー勝利、女子は唐見が4連覇で弱虫ペダルが男女エリート制覇」

◎国内自転車雑誌「バイシクルクラブ」ウェブ

<https://funq.jp/bicycle-club/article/589082/>

「弱虫ペダルチーム活躍！ JCX開幕でシクロクロスがシーズンイン 茨城クロス # 取手」

◎本大会での取材を含めた、弱虫ペダルサイクリングチームの活動の様子が、2021年2月「NHK スポーツ×ヒューマン」ドキュメンタリー番組として放映予定です。（NHK BS1 金曜午後11時、NHK 総合 火曜午前1時45分）

<https://www.nhk.jp/p/ts/KQ8893GKX6/>

TREK



RENAULT
Passion for life

新昭和ウィザース
東関東

EXLUB
アイリス株式会社
www.iris21.jp

ATHLETUNE
ENERGIZING FOCUSED ENERGY SPEEDCURE

vittoria

NW
NORTHWAVE

tune
BORN IN THE BLACK FOREST BUILT TO ENJOY NATURE

おたふく手袋

IRC TIRE
Inoue Rubber Co., Ltd.

【開幕太鼓】

地元取手市「太鼓の衆風舞（かざまい）」の鈴木氏による開幕和太鼓が選手を鼓舞。



【本部】

晴天に恵まれ、早朝からの参加者を迎える本部テント。
参加者の動線を考慮して例年から場所を変更しました。

【ソーシャルディスタンス】

懸念される受付前の行列は、カラーコーンとPOPによる距離確保、事前の検温、誓約書を忘れた方は離れた場所で記入、時間帯を分けた受付、などで整理することができました。





【名物セクション】

広さと見やすさを考慮した「障害板セクション」。観衆が集う人気スポットとなりました。

新昭和ウィザース様ご提供の、例年よりも高さを抑えた28cmの障害版は、降りるか、飛ぶか、判断の分かれるセクションとなりました。

最も「シクロクロスらしい」セクションとして、フォトグラファー格好のセクション。

【名物セクション】

広さと見やすさを考慮した「障害板セクション」。観衆も集う人気スポットとなりました。

新昭和ウィザース様ご提供の、例年よりも高さを抑えた28cmの障害版は、降りるか、飛ぶか、判断の分かれるセクションとなりました。

華麗なジャンプはなかなか見ることができませんが、だからこそその拍手喝采。



【10月下旬】

例年よりも2週間ほど遅い開催時期は、選手からは上がりすぎない気温の面で好評でした。

準備側としても清掃作業に十分な時間を充てることができ、感染症の影響とはいえ意外な発見がありました。





【エントリー状況】

結果的に、2019年大会から10%減の参加者数で締め切りました。エリートカテゴリーは人数減がなく、入門者カテゴリーとキッズカテゴリーで参加者が大きく減る結果となりました。レースに対する熱狂具合、また家族で移動することの難しさの結果と推察します。引き続き、時代に合わせた大会規模を模索していきます。

【結果】

エリートカテゴリーは地元茨城をトレーニング拠点とする弱虫ペダルサイクリングチームの織田聖選手（男子）、唐見実世子選手（女子）が勝利。

両選手とも実力者を退け、本大会2大会連続での勝利。長いシーズンの開幕に弾みをつけました。



【結果】

男子マスタースカテゴリーは東西強者対決となり、千葉の石川正道選手が勝利。

全国的に参加者数の多いマスタースカテゴリーの盛り上がり、全国シクロクロスの盛り上がり直結するため、引き続き注力していきます。





【出店】

取手市観光協会の協力により、昨年と同じく9店舗の飲食・お土産出店があり。

出店者としても参加者としても久々のイベント・お祭りだったので、皆様にお楽しみいただきましたでしょうか？

また大会協賛企業でもある「茨城日産自動車株式会社」ルノーつくばからは、サイクルライフを支える車両の出展があり、大会に華を添えていただきました。

